

# 講演のご案内

## 伝統木造住宅の耐震設計・耐震補強設計 - 大型振動台実験による検証 -

伝統木造住宅の耐震設計や耐震補強設計を行うには、伝統木造が地震に耐えて耐震性を発揮するメカニズムを理解した上で、伝統木造に適切な耐震設計法、耐震補強設計法とともに、耐力と変形性能を有する仕口接合部や耐震要素、耐震補強部材を用いる必要がある。昨年度の移築・新築京町家の実大振動台実験やこれまでの多くの要素実験、単位軸組実験などを踏まえて解説する。また伝統木造に残された課題を解明するために実施する 2006 年度 E - ディフェンス震動台実験についても紹介する。

ビデオ映像とともに分かりやすく説明いたしますので、是非、お出でくださいますようお願い致します。

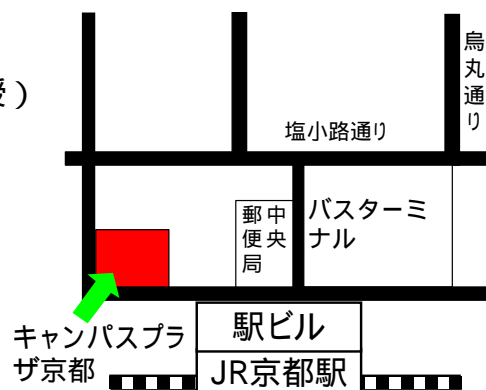
日時：2006 年 12 月 6 日（水）18:30～20:00（受付 18:15）

会場：キャンパスプラザ京都 第 1 会議室

<http://www.consortium.or.jp/campusplaza/access.html>

（JR 京都駅前、京都中央郵便局の西側）

講師：鈴木 祥之（京都大学防災研究所・教授）



申し込み方法：

定員が 63 人ですので、早めに申し込み下さい。

京都大学防災研究所フォーラムのホームページの京都会場スケジュールから申込を選択して必要事項をご記入ください。

<http://www.21coe.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

または矢野佐永子まで、名前、住所、勤務先をメールあるいは FAX でご連絡ください。

E-mail : [zano@zeisei.dpri.kyoto-u.ac.jp](mailto:zano@zeisei.dpri.kyoto-u.ac.jp)

Tel : 0774-38-4046 Fax : 0774-38-4055

京都大学防災研究所

鈴木 祥之

Tel:0774-38-4045 Fax: 0774-38-4055

E-mail: [suzuki@zeisei.dpri.kyoto-u.ac.jp](mailto:suzuki@zeisei.dpri.kyoto-u.ac.jp)